

第3章 地域保健課業務

1 茅ヶ崎市保健衛生功労者表彰○

管内において、公衆衛生・医療・薬事・その他の保健衛生の推進に寄与している 8 個人及び 1 事業所に保健所長表彰を行いました。また、献血推進功労者 2 団体に保健所長表彰を行いました。

さらに、保健衛生の知事表彰候補者を推薦し、4 個人 1 事業所が表彰を受けました。

2 医務関係○

医療施設、施術所等の許可及び届出等に際し、指導し適正化に努めました。

医療施設については、管内 9 病院に対して、医療法第 25 条に基づいて立入検査を実施し、不適合事項については指導を行い適正化に努めました。

3 医療関係従事者の免許関係事務○

医師等医療関係従事者の免許登録申請、籍訂正、再交付等の業務を行いました。

4 献血◎

寒川町及び関係団体との連携を密に、計画採血を推進しました。また、茅ヶ崎市保健所管内の献血推進に係る県知事表彰候補者を推薦し、2 団体が表彰を受けました。

5 保健・医療・福祉関連推進事業○

二次保健医療圏ごとに設置される湘南東部地区保健医療福祉推進会議の委員を受任し、地域医療構想の推進のため、湘南東部地区の現状分析や、2025 年に向けた対応の協議などについて議論しました。

また、保健医療計画に基づき実施する病床協議を経て配分された病床について、同会議の医療専門部会に進捗状況報告を行いました。

6 医療安全相談窓口○

茅ヶ崎市及び寒川町内の診療所や病院など医療機関を受診する患者やその家族からの相談に対応することにより、医療機関との信頼関係の構築を支援しました。

7 受動喫煙対策促進事業○

施設管理者等を対象とした説明会等の実施、チラシ等の資材配布を通じた普及啓発、経過措置の適用対象となる飲食店営業許可を受けた施設が喫煙可能室を設置した際に掲示する標識ステッカーの作成及び配布を行いました。

8 補助事業★

市民の健康保持増進を図り、医療充実を深めるため、医師会等の医療関係団体の事業に対し補助金を交付しました。また、処遇の改善を通じて産科医師等の確保を図るため、分娩手当等を支給する医療機関の開設者に対し補助金を交付しました。

外国籍の市民の救急医療による入院治療費の未払いに対し、未払い相当額を救急医療機関に補助する救急医療機関外国籍市民対策事業補助金については申請がありませんでした。

骨髄等の提供を行った市民及びその市民が勤務する事業所に対し、提供に要した日数に応じて奨励金を交付する骨髄移植ドナー支援事業奨励金については申請がありませんでした。

9 地域医療センター★

新たな地域医療センターを、一般社団法人茅ヶ崎医師会、一般社団法人茅ヶ崎歯科医師会、一般社団法人茅ヶ崎寒川薬剤師会の各事務所との複合施設として整備し、令和元年4月1日より共用を開始しました。休日等の医療不安を解消するため、休日及び平日・土曜の夜間等において、緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な一次救急診療を行いました。また、地域医療センターで行われる休日夜間急患診療事業が円滑に実施できるように施設を維持管理しました。

10 地域医療推進事業★

(1) 地域医療推進協議会の開催

地域における関係医療機関相互の連携等、地域医療全般にわたる方向性について協議する地域医療推進協議会を1回開催しました。

(2) かかりつけ医制度等の啓発活動及び医療情報の発信

かかりつけ医・歯科医・薬局を持つことの大切さを広く市民に啓発するため、広報紙、FMラジオ、デジタルサイネージ等の媒体を活用して周知するとともに、医療機関の適正利用を推進するため、医療機関・薬局ガイドサービス（ウェブ）による情報発信等を行いました。

11 高齢者保健福祉・介護保険関連事業◎

(1) 在宅医療介護連携推進事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するため、在宅に関する医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進する各種取組を行いました。

平成29年6月1日に在宅ケア相談窓口を開設しました。在宅ケア相談窓口では、茅ヶ崎市・寒川町の住民だけでなく、医療・介護の関係者からの在宅医療や介護に関する相談を受け、医療と介護の連携がスムーズに図られるよう調整する役割を担っています。令和元年度はのべ102件あり、そのうち新規相談92件、継続相談10件の相談があり、地域包括支援センターや医師会、歯科医師会、薬剤師会等と連携しながら調整を行いました。

また、「住民への周知」・「仕組みづくり」・「関係者人材育成」の3本の柱を掲げ、住民への利便性を高め、地域の専門職の連携をより深めていくため、住民向け講演会、各種会議、多職種連携研修会等を行いました。

(2) 地域包括ケア推進事業

地域包括ケアシステムを推進するため、地域包括ケア推進委員会を開催し、地域包括ケアシステムの現状や課題及び今後の方向性について共有・検討を行いました。

(3) 高齢者虐待防止における相談・連携

高齢者虐待を防止するために開催されている茅ヶ崎市・寒川町高齢者虐待防止ネットワーク連絡協議会に参加し、高齢者虐待の傾向等について共有を行い、市町との情報交換や連携に努めました。

12 災害医療対策◎

(1) 医療救護体制の整備

災害発生時に茅ヶ崎市及び寒川町の区域における災害時医療救護活動を円滑に行うため、「茅ヶ崎市・寒川町災害医療対策会議」を設置し、平時から関係機関や団体等の連携を推進する体制整備に取り組みました。

災害時医療救護所の開設予定場所14箇所（地域医療センター、赤羽根中学校を除く市立中学校12校及び小和田小学校）に、備蓄している災害時用の医薬品や衛生資材の期限切れの入替作業を行いました。

(2) 医療救護活動の周知

災害時の医療救護活動の市民への周知と、医療従事者及び職員の訓練を行うため、令和元年11月24日（日）に、小出地区まちぢから協議会主催の小出地区防災訓練において、医療救護訓練を実施しました。参加者には、医療救護所開設のデモンストレーションの見学を通じて、医療救護所開設までの様子や、医療救護所ではトリアージを行うこと、災害時の医療関係団体の役割等について周知しました。

1.3 地域・職域連携推進○

(1) 地域・職域連携推進協議会の開催

働き盛り世代の生活習慣病予防・重症化予防を行い、健康を向上させ、生涯を通じた継続的な健康管理を支援するため、地域保健と職域保健の関係機関が集まり、各機関の機能や役割について共有し、今後についての有機的な連携づくりに向けて検討しました。

(2) 研修会の開催

働き盛り世代の生活習慣病対策の取組みに関する研修会を地域保健や職域保健の関係者を対象に実施しました。

(3) 健康教育実施状況

茅ヶ崎市・寒川町にある事業所の職員、食品衛生責任者講習会参加者、理美容講習会参加者を対象に、生活習慣病予防やメンタルヘルス、歯科、喫煙に関する健康教育の実施をしました。

1.4 母子保健○

(1) 管内母子保健施策の推進

母子保健推進会議・部会を開催し、周産期からの児童虐待予防について医療機関と行政機関との連携体制の構築を進めました。また、予期しない妊娠等への相談体制の整備をめざし妊娠支援部会も開催しました。

管内の母子保健事業等の効果的な実践のため、関係者向けに研修会を実施しました。

(2) 養育支援事業

心臓疾患のある児の家族を対象に交流会を開催し支援しました。また、医療的ケアが必要な子どもと家族の交流会を開催し支援をしました。人工呼吸器使用者が災害時に継続して安全に医療を受ける事ができるよう避難訓練を実施しました。

医療的ケアを必要とする乳幼児とその家族が、在宅で安心して生活し成長するための支援体制づくりを目指すために、小児等在宅医療推進連絡会議および従事者研修会を開催しました。

1.5 保健指導・健康相談○

(1) 健康教育・保健指導等の実施

教育機関の児童・生徒を対象に性教育の保健指導、教職員向けに食物アレルギー対応についての保健指導を実施しました。

8020運動推進員育成研修にて災害時のボランティア活動についての保健指導を実施しました。

(2) 訪問指導・電話相談・面接

保健師による訪問指導や、電話・面接での保健指導および健康相談を随時受けました。

(3) 研修会

アレルギー疾患対策、立入検查看護系学習会、災害時の保健師活動に関する研修会を管内関係者を対象に実施しました。

1.6 歯科保健○

(1) 歯科保健推進会議の開催

管内市町の歯科保健事業の実施状況や課題等を共有し、共通課題である「家庭内フッ化物洗口の普及推進」、「口から始める子育て“歯”援湘南 21 運動」、「歯間清掃用具普及推進」、「オーラルフレイル対策の推進」について検討しました。

(2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町乳幼児歯科保健事業と連携し、重度う蝕ハイリスク乳幼児の早期発見、継続的予防管理を行うとともに、必要に応じて他職種と連携し食べ方支援を含む総合的育児支援を行いました。

(3) 障害児者の歯科検診・指導及び訪問口腔ケアの実施

障害児者等歯科検診（ビーバー歯科検診）は他職種や他機関との連携により広く広報し、対象者のもれのない把握と、継続検診・指導・予防処置・摂食機能訓練等の充実に努めました。

(4) 歯科専門職の人材の育成

地域歯科保健充実のために、市町・保健所の歯科保健事業に従事している在宅歯科衛生士を対象に歯科保健連絡会を開催し、人材育成、資質向上に努めました。

(5) 歯と口の健康づくりボランティアの育成

神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例に基づき養成された 8020 運動推進員を対象に、管内市町及び関係機関・団体と連携して、推進員が自主的な活動を円滑に実施できるよう育成研修を実施しました。

1.7 栄養・食生活対策○

(1) 地域食生活対策推進協議会の開催

病院及び施設から在宅へ移行する療養者へ継続的な栄養管理をすることができるように、栄養情報提供書を作成し、その活用を図りました。

(2) 専門的栄養指導・食生活支援事業の実施

疾病の重症化及び合併症の進行防止と生活の質の向上を図るため、個別栄養相談を行うと共に、地域や施設で食生活支援に関わる医療や福祉等の関係者に対して、研修を行いました。

(3) 栄養表示等普及啓発事業の実施

食品表示法及び健康増進法に基づき、食品製造・販売業者等に対して栄養成分表示等の適正化及び、消費者等に対して栄養成分表示の普及と活用の推進を図りました。

(4) 特定給食等指導事業の実施

健康増進法及び市条例等に基づき、特定給食施設等に対して適正な給食運営と栄養管理を図るため、計画的かつ重点的に実地指導や講習会を行いました。

(5) 人材育成及び連絡調整会議の実施

食生活支援に関わる地域活動栄養士や食生活改善推進員等に対して定例会等を実施する他、管内における行政栄養士等が連携し、地域の栄養・食生活対策を円滑及び効果的に推進することを目的に連絡調整会議を開催しました。

(6) 国民健康・栄養調査

厚生労働省が決定した調査地域に茅ヶ崎市保健所管内が該当しなかったため、調査はありませんでした。

1 8 特定不妊治療費助成事業及び不育症治療費助成事業★

(1) 茅ヶ崎市特定不妊治療費助成事業

不妊に悩む夫婦の経済的負担を軽減するために、神奈川県の特成決定を受けた方を対象として、不妊治療のうち医療保険の対象とならない高額な特定不妊治療費について、治療総額のうち県の特成金を差し引いた費用の一部を助成しました。

(2) 茅ヶ崎市不育症治療費助成事業

不育症（妊娠はするものの流産又は早産を繰り返す症状）を治療して子を持つとする方の経済的負担を軽減するために、指定した医療機関において不育症と診断された後の医療保険の対象とならない検査費用及び治療費について費用の一部を助成しました。

1 9 神奈川県経由事務○

(1) 小児医療援護

小児慢性特定疾病医療費支給申請の書類を受理し、内容を確認のうえ、平塚保健福祉事務所保健福祉課あてに進達しました。

(2) 神奈川県不妊に悩む方への特定治療支援事業

知事が指定した医療機関において特定不妊治療（体外受精または顕微受精による治療）を受けた夫婦から特成金の申請書類を受理し、内容を確認のうえ、県健康増進課あてに進達しました。

(3) 母体保護法第 25 条に基づく統計の報告（衛生行政報告例）

母体保護法第 25 条に基づく届出による情報に基づき、管内医療機関における不妊手術及び人工妊娠中絶の件数等の情報を集計し、県健康増進課あてに報告しました。

1 茅ヶ崎市保健衛生功労者表彰

期 日 令和元年11月14日

場 所 茅ヶ崎市保健所

〔個人 の 部〕

区 分	氏 名	職 業
医 療 関 係	豊 島 光 男	医 師
医 療 関 係	朝 倉 照 雄	歯 科 医 師
医 療 関 係	新 谷 恵 子	薬 剤 師
医 療 関 係	伊 郷 潤 子	看 護 師
医 療 関 係	浅 岡 裕 美	看 護 師
医 療 関 係	畔 柳 佳 代	歯 科 衛 生 士
食 品 衛 生 関 係	南 雲 秀 男	飲 食 店 営 業
地 域 公 衆 衛 生 活 動 関 係	大 川 照 子	食 生 活 改 善 推 進 員

〔施設 の 部〕

団体名	住所
有限会社 川国肉店	茅ヶ崎市今宿

〔献 血 の 部〕

団体名	住所
真如苑 湘南支部	茅ヶ崎市小桜町
J X金属株式会社 倉見工場	高座郡寒川町倉見

2 医務関係

(1) 医療施設数・人口10万対施設数

ア 市町別

区分	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		施術所		歯科技工所	
	数	10万対	数	10万対	数	10万対	数	10万対	数	10万対	数	10万対
総 数	9	3.1	184	63.4	150	51.7	9	3.1	358	123.3	39	13.4
茅ヶ崎市	7	2.9	162	67.0	132	54.6	9	3.7	317	131.1	34	14.1
寒川町	2	4.1	22	45.5	18	37.2	0	0.0	41	84.7	5	10.3

*医療施設数：令和2年3月31日現在

*人口：令和2年3月1日現在（茅ヶ崎市人口 241,854人、寒川町人口 48,400人）

イ 年次推移

区分	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		施術所		歯科技工所	
	数	10万対	数	10万対	数	10万対	数	10万対	数	10万対	数	10万対
平成21年度	9	3.2	173	61.3	141	50.0	6	2.1	215	76.2	40	14.2
平成28年度	9	3.1	184	63.9	149	51.7	10	3.5	318	110.4	39	13.5
平成29年度	9	3.1	186	64.2	147	50.8	10	3.5	332	114.6	39	13.5
平成30年度	9	3.1	184	63.4	146	50.3	8	2.8	349	120.2	39	13.4
令和元年度	9	3.7	184	76.1	150	62.0	9	3.7	358	148.0	39	16.1

(2) 病床数・人口10万対病床数

ア 市町別

区分	病 院								一般診療所		合計	
	一般		療養		精神		計		数	10万対	数	10万対
	数	10万対	数	10万対	数	10万対	数	10万対				
総 数	1,142	393.4	371	127.8	384	132.3	1,897	653.6	43	14.8	1,940	668.4
茅ヶ崎市	1,043	431.3	371	153.4	200	82.7	1,614	667.3	34	14.1	1,648	681.4
寒川町	99	204.5	0	0.0	184	380.2	283	584.7	9	18.6	292	603.3

イ 年次推移

区分	病 院								一般診療所		合計	
	一般		療養		精神		計		数	10万対	数	10万対
	数	10万対	数	10万対	数	10万対	数	10万対				
平成21年度	1,418	502.6	334	118.4	365	129.4	2,117	750.4	72	25.5	2,189	775.9
平成28年度	1,142	396.5	371	128.8	384	133.3	1,897	658.6	43	14.9	1,940	673.5
平成29年度	1,142	393.4	371	128.1	384	132.6	1,897	655.0	43	14.8	1,940	669.8
平成30年度	1,142	393.4	371	127.8	384	132.3	1,897	653.6	43	14.8	1,940	668.4
令和元年度	1,142	393.4	371	127.8	384	132.3	1,897	653.6	43	14.8	1,940	668.4

(3) 病院等立入検査実施状況

医療法第25条1項の規定に基づき管内の病院・診療所を対象に実施しました。

区分	実施数	指導結果					
		文書指摘		文書指導		口頭指導	
		医療施設数	件数	医療施設数	件数	医療施設数	件数
病 院	9	0	0	0	0	9	29
診 療 所	0	0	0	0	0	0	0

(4) 医務関係許可等取扱状況

区 分		病院	一般 診療所	歯科 診療所	助産所	あん摩・ はり・ きゅう	柔道 整復	歯科 技工所	衛生 検査所
許可申請	開 設	0	18	3	1	/			0
	使 用	14	0	0	1				
	変 更	20	7	1	0				
	そ の 他	0	3	1	0				
届 出	開 設	0	23	10	2	21(5)	12	2	0
	変 更	6	30	10	1	20	23	0	0
	休 廃 止	0	25	6	1	10(5)	13	2	0
	巡 回 健 診 ・ 診 療	9	13	/					
	そ の 他	0	0	1	0	0	0	0	0
X 線 装 置 等	設 置	12	33	28	/				
	廃 止	1	33	24					
	変 更	6	1	4					
	そ の 他	5	0	0					
計		73	186	88	6	51(10)	48	4	0

※「あん摩・はり・きゅう」欄の（）は、出張専門の届出数で外数

3 医療関係従事者の免許関係事務

免許事務取扱状況

区 分	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	管 理 栄 養 士	栄 養 士	診 療 放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	衛 生 検 査 技 師	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 士	受 胎 調 節 実 地 指 導 員	計
登 録 申 請	13	2	18	12	3	107	4	26	24	5	7	0	29	9	0	3	262
籍 訂 正	4	2	15	18	3	79	5	12	18	1	3	2	7	8	0	0	177
再 交 付	0	0	2	1	1	5	4	2	4	0	0	0	2	0	0	1	22
抹 消 ・ 返 納	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
計	20	5	35	31	7	191	13	40	46	6	10	2	38	17	0	4	465

4 献血

(1) 市町別献血数・目標数

(単位：人)

区分 市町名	200ml		400ml		計	
	目標人数	献血者数	目標人数	献血者数	目標人数	献血者数
総数	119	145	3,530	3,168	3,649	3,313
茅ヶ崎市	89	104	2,680	2,404	2,769	2,508
寒川町	30	41	850	764	880	805

(2) 年次別献血数・目標数

(単位：人)

区分 年度	200ml		400ml		計		目標 達成率 (%)
	目標人数	献血者数	目標人数	献血者数	目標人数	献血者数	
平成21年度	156	25	4,254	4,618	4,410	4,643	105.3%
平成27年度	226	168	2,866	4,058	3,092	4,226	136.7%
平成28年度	195	169	3,689	3,623	3,884	3,792	97.6%
平成29年度	170	148	3,714	3,001	3,884	3,149	81.1%
平成30年度	116	169	3,101	3,155	3,884	3,324	85.6%
令和元年度	119	145	3,530	3,168	3,649	3,313	90.8%

(3) 職域別献血状況

区分 職域	採血車 台数(台)	献血者数		1台あたり 献血者数 (人/台)
		実数(人)	比率(%)	
総数	77	3,313	100.0%	43.0
街頭	32	1,358	41.0%	42.4
会社・事業所	32.5	1,322	39.9%	40.7
官庁・学校	10.5	524	15.8%	49.9
その他	2	109	3.3%	54.5

*採血車を半日配車した場合は、0.5台とカウントします。

(4) 骨髄バンクドナー登録会

関係団体の協力のもと、庁内で行う献血に併行してドナー登録会を実施しました。

実施日	会場	登録者数
令和元年12月19日	茅ヶ崎市役所	10

5 保健・医療・福祉関連推進事業

(1) 湘南東部地区保健医療福祉推進会議

湘南東部地区保健医療福祉推進会議の委員を受任し、神奈川県地域医療構想の推進等に参画しました。

ア 湘南東部地区保健医療福祉推進会議

開催日	主な内容
9月10日	地域医療構想調整会議の進め方について 湘南東部地域の現状について 医療法第7条第3項に基づく許可を要しない診療所の取扱いについて 過剰な病床機能への転換等について（医療専門部会）
11月6日	過剰な病床機能への転換について 医療法第7条第3項の許可を要しない診療所の取扱いについて
2月14日	「2025年に向けた対応方針」の更新について 重点支援区域について 医療法第7条第3項の許可を要しない診療所の取扱いについて 精神病床に係る病院等の開設等に伴う取扱いについて 令和2年度地域医療構想調整会議の進め方について

イ 湘南東部地区保健医療福祉推進会議医療専門部会

開催日	主な内容
8月30日	過去の事前協議で承認された病床整備の進捗状況について

ウ 湘南東部地区保健医療福祉推進会議病床機能分化・連携ワーキンググループ

開催日	主な内容
12月13日	地域医療構想を踏まえた「公的医療機関等2025プラン」及び「2025年に向けた対応方針」について

(2) 神奈川県医療審議会

医療法によりその権限に属された事項のほか、知事の諮問に応じ、医療を提供する体制の確保に関する重要事項を調査審議する神奈川県医療審議会に事務局として出席しました。

開催日	主な内容
10月15日	医療第7条第3項の許可を要しない診療所の決定について 地域医療支援病院の名称使用承認について 地域医療支援病院の移転における取扱いについて
3月24日 (書面協議)	保健医療計画（基準病床数）の一部改定について 医師確保計画について 医療法第7条第3項の許可を要しない診療所の決定について 地域医療支援病院の名称使用承認について 救命救急センターの指定方針について

(3) 医療ツーリズムと地域医療との調和に関する検討会

地域の医療提供体制に影響を及ぼさないよう、医療ツーリズムが地域医療に与える影響と課題を整理の上、地域医療との調和に向けた仕組み等を検討するため、委員を受任し参加しました。

開催日	主な内容
5月17日	本検討会における医療ツーリズムの定義について 医療ツーリズムと地域医療との調和に向けたルールの検討について 今後の検討の進め方について
8月22日	検討会中間報告について 国への要望について 検討会最終報告（骨子・構成）について
2月5日	検討会最終報告について

6 医療安全相談窓口

茅ヶ崎市及び寒川町内の診療所や病院など医療機関を受診する患者やその家族からの相談に対応することにより、医療機関との信頼関係の構築を支援しました。

(1) 相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	20	14	26	31	33	19	15	16	26	20	23	30	273

(2) 相談者数

	男	女	不明	計
本人	75	142	3	220
家族	11	37	0	48
その他	2	3	0	5
計	88	182	3	273

(3) 相談内容・件数

内容	苦情件数	相談件数
医療行為、医療内容	22	23
コミュニケーションに関すること	40	3
医療機関等の施設	6	4
医療情報の取扱い	3	7
カルテ開示	0	0
セカンドオピニオン	0	3
その他、医療情報に関すること	3	4
医療機関等の紹介、案内	1	109
医療費（診療報酬等）	11	11
医療知識等を問うもの	5	31
健康や病気に関すること	0	25
薬（品）に関すること	3	3
その他、医療知識等を問うもの	2	3
その他（要望・提案・その他を含む）	30	16
計	126	242

(4) 対応方法（複数選択可）

対応	件数
説明・情報提供（医療機関の案内含む）・助言	229
他課や関係機関等の紹介	25
医療機関等への連絡・情報提供・助言等	17
その他	2
計	273

7 受動喫煙対策促進事業

(1) 標識作成・配布事業

令和2年4月1日（一部施設は令和元年7月1日より）から全面施行される健康増進法により、喫煙専用室等の喫煙をすることができる場所を設けた場合には、施設の管理権原者等は必要な事項を記載した標識を掲示することが義務付けられることとなりました。

円滑な法施行を目的に、多くの人々が利用する施設類型である飲食店の中でも、喫煙可能室を設置することができる飲食店については、当市管内全飲食店のうち7割強の施設が該当するため、より多くの施設に法令を遵守してもらうこと、施設利用者が望まない受動喫煙を避けることができる環境の整備を目的に、標識の作成及び配布を行いました。

区分	令和元年度
喫煙可能室標識表示シール	13枚
喫煙可能室設置施設標識表示シール	11枚
喫煙可能室兼喫煙可能室設置施設標識表示シール	110枚

令和2年3月31日時点

(2) 周知啓発事業

ア 事業者・市民への普及啓発

(ア) 啓発物品作成・配布事業（ポケットティッシュ）

健康増進法が円滑に施行されること、事業者及び市民に広く周知をはかることを目的に、啓発用ポケットティッシュを3,000個作成しました。

なお、令和元年度は令和2年2月27日に環境政策課（ポイ捨て禁止街頭キャンペーン）と合同で、茅ヶ崎駅北口ペDESTリアンデッキ上にてティッシュ配布を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大中であつたため自粛しました。

区分		令和元年度
イベントキャンペーン	回数	0回
	配布数	0枚

令和2年3月31日時点

(イ) 事業者向け説明会

施設管理者等に対して法律の目的や規制内容について、事業者団体等の開催する説明会及び講習会において説明し、また海水浴場組合等の地域団体を通じて周知することにより、法律の普及啓発を図りました。

区分		令和元年度
事業者向け	回数	11回
	資料配布数	677枚
地域団体等向け	回数	2回
	資料配布数	73枚

令和2年3月31日時点

(ウ) 広報媒体による普及啓発

広報紙、ホームページ等により、受動喫煙による健康への悪影響等について普及啓発を実施しました。

広報媒体	期間	主な内容
Twitter	令和元年 12 月 20 日	喫煙可能室の届出周知
デジタルサイネージ	令和元年 6 月 1 日～6 月 15 日	一部施行の案内
ハーモニアス	令和元年 5 月 18 日～5 月 31 日	一部施行の案内
広報紙	令和 2 年 3 月 1 日号	法周知、喫煙可能室周知
ケーブル TV	令和 2 年 3 月 28 日～4 月 10 日	法周知

イ 事業者等への改正健康増進法の周知・徹底

(ア) 通報への対応

個人や施設管理者の義務違反に対し、現地での確認・指導等により対応しました。

区分	令和元年度
対応件数	0 件

令和 2 年 3 月 31 日時点

(イ) 事業者向け相談指導の実施

受動喫煙防止対策の技術的な内容に関する個別の相談指導を随時実施しました。

区分	令和元年度
対応件数	14 件

令和 2 年 3 月 31 日時点

8 補助事業

(1) 医療関係団体等補助事業

医療関係団体が実施する市民の健康、医療充実を深めるために実施する事業や、医療関係団体が実施している輪番等による救急医療に対する補助金並びに湘南看護専門学校への建設費及び学校運営費に対する補助金を交付しました。

(2) 救急医療機関外国籍市民対策事業

茅ヶ崎市の救急医療体制の円滑な運営確保のため、外国籍市民の救急医療に関して、前年度に生じた未収医療費を補助するものです。令和元年度は、補助金の申請がありませんでした。

(3) 産科医師等分娩手当補助事業

処遇の改善を通じて産科医師等が確保できるよう、地域でお産を支える産科医師等に対し、分娩手当の支給件数に合わせて施設開設者に補助しました。

(4) 骨髄移植ドナー支援事業

公益財団法人日本骨髄バンクが骨髄バンク事業において実施する骨髄又は末梢血幹細胞の移植の推進を図るため、骨髄等の提供を行った市民及びその市民が勤務する事業所に対し、骨髄等の提供に要した日数に応じて奨励金を交付するものです。令和元年度は、奨励金の申請がありませんでした。

9 地域医療センター

(1) 休日夜間急患診療事業

休日等の医療不安を解消するため、休日及び平日・土曜の夜間等において、緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な一次救急診療を行いました。

		令和元年度実績		診療日時	
診療科		患者数	診療日数	診療日	診療時間
医科	内科	4,287	366	平日・土曜日	20時～23時
				日曜日・祝日・年末年始	9時～23時
	小児科	4,252	366	平日・土曜日	20時～23時
				日曜日・祝日・年末年始	9時～17時
外科	612	76	日曜日・祝日・年末年始	9時～17時	
計	9,151	—			
歯科		513	77	日曜日・祝日・年末年始	9時～17時
合計		9,664	—	【備考】12時～13時は休診	

(2) 地域医療センターの管理

地域医療センターで行われる休日夜間急患診療事業が円滑に実施できるように施設を維持管理しました。

(3) 地域医療センター再整備事業

新たな地域医療センターを、一般社団法人茅ヶ崎医師会、一般社団法人茅ヶ崎歯科医師会、一般社団法人茅ヶ崎寒川薬剤師会の各事務所との複合施設として整備し、令和元年4月1日より共用を開始しました。

10 地域医療推進事業

(1) 地域医療推進協議会の開催

開催日	主な内容	出席者数	会議構成員
9月11日	(1) 医療機関・薬局ガイドサービスについて (2) その他（報告） ア 平成30年度 休日・夜間急患センター実績について イ 新しい茅ヶ崎市地域医療センターの供用開始について ウ 本協議会の廃止について	7人	市民、医療関係団体の代表者、地域医療支援病院の代表者、学識経験を有する者（9人）

(2) かかりつけ医制度等の啓発活動及び医療情報の発信

かかりつけ医制度の定着を進め医療機関の適正利用を推進するため広報ちがさきへの掲載や医療機関・薬局ガイドサービス（ウェブ）による情報発信等を行いました。

ア 広報ちがさき

広報11月1日号（7面）

「かかりつけ医・歯科医・薬局を持ちましょう」

（地域保健課）

広報3月1日号（4面）

「必要なときに必要な医療を受けるために かかりつけ医・歯科医・薬局を持ちましょう」

（地域保健課、高齢福祉介護課、市立病院医事課・地域医療連携室）

イ FM放送による広報

FM放送により、広報紙11月1日号と同様の内容を放送しました。

【放送日時】令和元年11月7日（木）午前8時15分～20分

【放送局】藤沢エフエム放送株式会社（レディオ湘南）

ウ 本庁舎1階ロビーデジタルサイネージ（11月1日～11月30日掲載）

「かかりつけ医・歯科医・薬局を持ちましょう」

エ 本庁舎エレベーターホールデジタルサイネージ（11月1日～11月30日掲載）

「かかりつけ医・歯科医・薬局を持ちましょう」

オ 平成31年度茅ヶ崎市おとなの検診のお知らせ（平成31年3月発行）

「日頃の健康管理のため、かかりつけ医・歯科医・薬局を持ちましょう！」

カ 医療機関・薬局ガイドサービス（ウェブ）による情報発信

身近な医療機関を知っていただくとともに、緊急の時に活用していただけるよう、地図から地域の医療機関や薬局が検索できるサービスを提供しました。

キ 「健康いちばん！国民健康保険」への記事の掲載

「かかりつけ医を持ち、健康上気になることを相談しましょう。

大きな病院等にかかる前には、かかりつけ医から紹介状をもらいましょう。

紹介状を持たずに大きな病院を外来で受診した場合、別途選定療養費等の負担が必要となります。」

1 1 高齢者保健福祉・介護保険関連事業

(1) 在宅医療介護連携推進事業

ア 住民への周知

地域包括ケアシステムの一翼を担う在宅医療と介護について普及啓発するため、各種取組を行いました。

(ア) えぼ丸通信

在宅ケア相談窓口・在宅医療介護連携推進事業の取組について、住民や医療・介護の関係者に情報発信するため、茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター「えぼし麻呂」と寒川町高齢介護課オリジナルキャラクター「げんき丸」の名前を掛け合わせて、「えぼ丸通信」を4回発行しました。

[配架先一覧]

配架先		茅ヶ崎市	寒川町
1	市役所・町役場	1箇所	1箇所
2	支所等	6箇所	
3	保健・環境・衛生機関	7箇所	3箇所
4	福祉施設	40箇所	1箇所
5	体育施設	1箇所	
6	文化・教育機関	11箇所	3箇所
7	住民活動・地域集会施設	12箇所	
計		78箇所	8箇所

[配布部数]

各号	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11
	3,200部	3,200部	3,200部	3,200部
合計	12,800部			

(イ) 依頼講座

在宅ケア相談窓口の周知とともに、在宅医療・介護について周知するために、出張講座を行いました。

開催数	受講者数
7回	132人

(ウ) 住民向け研修会

平成27年度から、住民を対象にして、在宅医療や介護の現状等について周知・啓発を行うため講演会を行いました。

開催日	テーマ	講師	参加者数
11月30日	「自立した長寿社会をめざし、明るく生きるために」	会田 薫子 氏 (東京大学大学院 人文社会系・特任教授)	129人

イ 仕組みづくり

地域の在宅医療と介護の連携を推進するための各種検討を行いました。

(ア) 医療介護連携推進部会

医療介護連携推進部会では、在宅医療介護連携推進事業の在り方全般について検討する会として位置付けられ、各検討グループの取組状況を共有し、地域の在宅医療と介護の連携を推進するための検討を行いました。

回	開催日	主な内容	出席者数
1	5月30日	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 部会長・副部会長の選任 ◆ 平成31年度在宅医療介護連携推進事業について ◆ 茅ヶ崎 市・寒川地区における在宅医療介護連携の課題について 	24人
2	11月14日	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 部会長の選任 ◆ 令和元年度在宅医療介護連携推進事業の進捗状況と課題について ◆ 在宅ケア相談窓口の相談状況 ◆ 令和2年度事業計画及び方向性 	24人

(イ) 医療介護連携システム検討グループ

医療介護連携システム検討グループでは、医療介護連携推進部会の土台として位置付けられ、主に多職種連携ガイドラインの改定やICTの取組と情報提供、病院とのスムーズな連携について検討しました。

回	開催日	主な内容	出席者数
1	6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 多職種連携ガイドラインについて ◆ 医療介護連携システム検討グループの取組を始めるにあたって ◆ 茅ヶ崎市、寒川町の取組と課題について 	15人
2	9月19日	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 多職種連携ガイドライン改定に向けて ◆ ICTの取組、検討状況について ◆ 第1回検討内容を踏まえた取組について 	15人
3	12月12日	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 医療介護連携推進部会の報告 ◆ 多職種連携ガイドライン改定に向けて ◆ ICTの取組について情報提供 ◆ 第2回検討内容を踏まえた取組について 	14人
4	2月13日	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 多職種連携ガイドライン改定に向けて ◆ ICTの取組について情報提供 ◆ 「病院とのスムーズな連携」について検討 ◆ 今年度の取組の評価、感想 ◆ 来年度の取組 	14人

(ウ) 在宅ケア相談窓口検討グループ

在宅ケア相談窓口検討グループでは、医療介護連携推進部会の土台として位置付けられ、主に地域課題の抽出や対策に関しての検討、在宅ケア相談窓口の相談内容について共有しました。

回	開催日	主な内容	出席者数
1	7月18日	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 在宅ケア相談窓口検討グループの取組を始めるにあたって ◆ 在宅ケア相談窓口の相談状況について ◆ 茅ヶ崎・寒川地区における在宅医療介護連携の課題と対策について 	16人

2	10月10日	◆ 茅ヶ崎・寒川地区における在宅医療介護連携の課題と対策について	15人
3	12月19日	◆ 医療介護連携推進部会の報告 ◆ 在宅ケア相談窓口、上半期相談件数の報告 ◆ 第2回検討内容を踏まえた取組について	15人
4	2月20日	◆ 在宅ケア相談窓口相談件数の報告 ◆ 第3回検討内容の継続 ◆ 今年度の取組の評価、感想 ◆ 来年度の取組	14人

(エ) 病院間情報交換会

病院間情報交換会は、医療介護連携推進部会の土台として位置付けられ、主に病院間の連携や病院・ケアマネの連携について、入退院支援ガイドブックの改定について検討しました。

回	開催日	主な内容	出席者数
1	9月13日	◆ 入退院支援ガイドブックの改定について ◆ 入院に伴う課題の検討	29人
2	2月18日	◆ 災害時の対応 ◆ 入退院支援ガイドブックの改定について ◆ 対応困難な事例の検討	29人

ウ 関係者人材育成

地域の在宅医療と介護の専門職を育成し、連携を深めていくために研修会等を行いました。

(ア) 同行訪問研修

同行訪問研修は、これから在宅医療に取り組む意思のある医師、歯科医師、薬剤師に既に取り組んでいる医師等の訪問診療に同行してもらい、在宅医療に踏み出す契機とするための研修を行いました。

職種	令和元年度
医師	1件
歯科医師	0件
薬剤師	0件
合計	1件

(イ) 多職種連携研修検討委員会

多職種連携研修検討委員会では、主に在宅チーム医療人材育成事業地域リーダー研修を受講した専門職を中心として、多職種連携研修会の企画等を行いました。

回	開催日	主な内容	出席者数
1	5月16日	◆ 令和元年度多職種連携研修会の企画について ◆ 第19回多職種連携研修会の企画について ◆ 第20回多職種連携研修会の企画について ◆ 修了証書の発行中止について ◆ 多職種連携研修会の評価方法について	9人
2	8月1日	◆ 第19回多職種連携研修会の振り返り ◆ 第20回多職種連携研修会の企画について ◆ 第21回多職種連携研修会の企画について	10人
3	11月28日	◆ 第20回多職種連携研修会の振り返り ◆ 第21回多職種連携研修会の企画について ◆ 地域別多職種連携研修会（寒川地区）について	10人

(ウ) 多職種連携研修会

多職種連携研修会では、「在宅医療」及び「医療と介護の連携」推進のため専門職を対象とした研修会を行いました。研修内容は、アンケート結果等を踏まえて、多職種連携研修検討委員会の中で企画・検討し実施しました。

回	開催日	テーマ	参加者数
第19回	7月11日	認知症の方に対するサービス導入に向けた課題を考える	232人
第20回	10月17日	地域における自助・互助の現状を知ろう～認知症の方への支援充実に向けて～	159人
第21回	1月23日	認知症の方への段階に応じた支援を考える	139人

(エ) 看護職のための在宅医療介護連携研修会

地域包括ケアシステムにおける在宅医療の推進には、医療のコーディネーター役として看護職の果たす役割が期待されています。一方、茅ヶ崎・寒川地域の看護職連携を推進するシステムがなく、専門職としての連携が他の職種に比べて弱い。そのため、地域包括ケアシステムについての基礎知識を学び、看護職から見た在宅医療連携の課題を検討し、自分自身の役割について考えてもらうことを目的に実施しました。

回	開催日	テーマ	参加者数
第1回	10月4日	病院と在宅の連携を考える～看護職のつながりを深めよう～	31人
第2回	12月5日	同 上	38人

(2) 地域包括ケア推進事業（地域包括ケア推進委員会）

地域包括ケアシステム（住民が地域で安心して自立した生活を営めるよう、医療、介護予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される体制）の推進を支援するため、関係機関や関係団体との連携・協働体制を強化し、情報交換や課題の把握検討を行い、住民の保健・医療・福祉が向上することを目的としてこの間、委員会を開催してきました。

開催日	主な内容	出席者数
3月12日 （新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止）	<ul style="list-style-type: none">◆ 令和元年度在宅医療介護連携推進事業の取組について◆ 令和元年度小児等在宅医療推進事業の取組について◆ 地域包括ケアシステムにおける各団体の取組及び課題について◆ 施設看取りに関するアンケート調査について◆ 来年度の取組について	一人

(3) 高齢者虐待防止における相談・連携（茅ヶ崎市・寒川町高齢者虐待防止ネットワーク連絡協議会への参加）

開催日	主な内容
2月14日	<ul style="list-style-type: none">◆ 会長、副会長の選出について◆ 相談状況等報告◆ 意見交換等

1 2 災害医療対策

(1) 医療救護体制の整備

茅ヶ崎市・寒川町災害医療対策会議

災害発生時に医療救護活動を円滑に行うために、災害医療コーディネーター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、災害拠点病院、消防及び市町の災害対策関係課等を構成員とした茅ヶ崎市・寒川町災害医療対策会議を開催し連携を推進しました。

開催日	主な内容	出席者数
—	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止	一人

(2) 医療救護活動の周知

小出地区まちぢから協議会主催の小出地区防災訓練において医療救護訓練を実施しました。

開催日	主な内容	場所	参加者数
11月24日	医療救護所開設のデモンストレーションの見学	小出小学校	434人

(3) 災害時保健活動研修会

主に茅ヶ崎市・寒川町の保健師等を対象に、災害時に求められる基本的な知識・技術・活動方法等について習得するために研修を実施しました。

開催日	テーマ・講師	参加者数
5月20日	講義「災害時の保健師活動に求められること」・日本赤十字看護大学教授 石田 千絵氏	30人
9月17日	保健師活動シュミレーション～災害時の茅ヶ崎市・寒川町保健師の体制と避難所活動～	39人
12月9日	クロスロード（災害体験カードゲーム）の体験しよう～避難所における個別支援～	38人

1.3 地域・職域連携推進

(1) 地域・職域連携推進協議会

地域・職域連携推進協議会を開催し、働き盛り世代の生活習慣病予防の取り組みについて検討しました。

開催日	協議内容	出席者
3月23日	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	

(2) 研修会

地域保健および職域保健の関係者を対象に研修会を開催しました。

開催日	内容	講師	出席者
1月28日	第1部： 【講義】気がついたら健康的な習慣へ - 行動経済学とナッジ理論から - 第2部： ナッジいろいろ体験会（展示・体験）	第1部： 国際医療福祉大学 小田原保健 医療学部 副学部長 看護学科 学科長 荒木田 美香子氏 第2部： 市保健所保健師、管理栄養士	20人

(3) 健康教育実施状況

茅ヶ崎市・寒川町にある事業所等に健康教育を実施しました。

開催日	内容	講師	依頼	出席者
4月2日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	理容組合総会	48人
4月25日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	食品衛生責任者	5人
5月21日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	食品衛生責任者	9人
6月5日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	食品衛生責任者	31人
6月6日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	食品衛生責任者	24人
6月11日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	食品衛生責任者	166人
7月25日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	食品衛生責任者	25人
8月27日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	食品衛生責任者	25人
9月4日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	食品衛生責任者	46人
10月17日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	食品衛生責任者	45人
11月12日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	食品衛生責任者	60人
11月25日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	食品衛生責任者	76人
1月21日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	食品衛生責任者	35人

6月6日	メンタルヘルス	茅ヶ崎市保健所 精神保健福祉士	翔の会	28人
6月18日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	明治神奈川工場	2人
7月17日	メンタルヘルス	茅ヶ崎市保健所 精神保健福祉士	NPO 法人ともだち地域活動支援センター	16人
8月1日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	翔の会	12人
8月2日	メンタルヘルス	茅ヶ崎市保健所 精神保健福祉士	トピー工業	150人
8月19日	メンタルヘルス	茅ヶ崎市保健所 精神保健福祉士	東京応化	20人
9月19日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	東京カーボン	200人
10月10日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	旭ファイバーグラス	35人
10月29日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	理容所営業者等衛生講習会	63人
11月8日	メンタルヘルス	茅ヶ崎市保健所 精神保健福祉士	ニッショウケアサービス	20人
12月27日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	トピー工業	120人
3月10日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	理美容 非組合員	中止(新型コロナウイルスのため)
2月25日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	食品衛生責任者	
3月16日	生活習慣病講座	茅ヶ崎市保健所保健師	食品衛生責任者	

(4) 健康づくり事業担当課と連絡会の実施

管内の健康増進事業の推進を図ることを目的として、茅ヶ崎市・寒川町健康づくり事業担当課と連絡会を開催しました（寒川町に関しては、神奈川県が主催）。

	開催日	内容	出席者
寒川町	7月10日	議題 1 各市町の健康増進事業の自己評価について 2 がん検診の取組みに関する情報交換 3 その他	15人
茅ヶ崎市	10月16日	議題 1 健康増進関連の実施計画について 2 情報交換・意見交換 3 その他	5人

1.4 母子保健

(1) 管内母子保健施策の推進

ア 母子保健推進会議

茅ヶ崎市及び寒川町が実施する母子保健事業が円滑かつ効果的に行われるために、各種の母子保健事業の課題の検討や実績などの分析評価を行うことにより、管内の母子保健施策の向上を図ることを目的として開催しました。

区分	開催日	内容	出席者
周産期部会	8月6日	議題 1 平成29年～平成30年度 茅ヶ崎市母子保健推進会議部会実施状況について 2 平成30年度継続看護の実施状況（件数報告）について 3 継続看護実施状況からの課題 4 茅ヶ崎駅北口子育て支援センターについて 5 その他情報交換	22人
周産期部会	12月5日	議題 1 茅ヶ崎市母子保健推進会議 周産期部会について 2 各機関と課題について 3 周産期における課題と対策について 4 「茅ヶ崎・寒川地区 周産期継続看護取り扱いガイドライン」について 5 懸案事項・その他 ①災害時の母子支援について ②経済的困窮のある妊婦への支援について	17人
妊娠支援部会	1月16日	議題 1 茅ヶ崎市母子保健推進会議 妊娠支援部会について 2 予期せぬ妊娠における現状と課題について 3 予期せぬ妊娠・妊娠期における課題と対策について 4 懸案事項・その他 ①性教育について ②中学生の妊娠に伴う意思決定支援について	22人
会議	2月6日	議題 1 母子保健推進会議について 2 母子保健体制整備事業の取組について 3 各部会の報告 ア令和元年度 母子保健推進会議 周産期部会の取組について ①『茅ヶ崎・寒川地区 周産期継続看護取り扱いガイドライン』について ②地域課題・対策について ③周産期部会 事業計画について イ令和元年度 母子保健推進会議 妊娠支援部会の取組について ①地域課題・対策について ②妊娠支援部会 事業計画について 4 情報交換 ①産後健診の助成について ②その他（母子保健施策の向上に向けて）	23人

イ 妊娠期・周産期からの児童虐待予防研修会

医療機関・市・町の関係課、児童相談所・保健福祉事務所が、実践に役立つ法律の根拠や知識を学び、児童虐待を早期に発見、スムーズな連携体制を目指し実施しました。

開催日	テーマ	講師	出席者
8月30日	性的虐待の発見と対応 ①～神奈川県児童相談所における性的虐待調査報告書から見えたこと～ ②～現場対応の実際～	①神奈川県中央児童相談所 虐待対策支援課 三桝 優子氏 ②神奈川県中央児童相談所 子ども支援課 森本 春美氏	75人
9月26日	「エジンバラ産後うつ自己評価票」～EPDSの意味と評価から介入方法について～	北里大学看護学部 新井 陽子氏	43人

ウ 母子保健従事者研修会

管内の母子保健事業等の効果的な実施に向けて、寒川町・茅ヶ崎市保健師等を対象に標記研修会を実施しました。

開催日	内容	講師	出席者
6月4日	事例検討会 虐待予防の観点から見た特定妊婦への支援	元杏林大学保健学部 看護学科 保健師のための相談室（なごみ） 塚原 洋子氏	26人
10月17日	事例検討会 外国人家庭で育つ発達が気になる児への支援		20人

エ 管内母子保健担当課との連絡会

管内の母子保健事業が円滑かつ効果的に行われるために、課題や実施状況について情報交換を行いました。

【茅ヶ崎市（健康増進課）】

回	開催日	内容	出席者
第1回	4月25日	議題 1 31年度市保健所地域保健課母子保健事業について 2 31年度健康増進課母子保健事業について 3 31年度の市町母子保健連絡会について	6人
第2回	8月21日	議題 1 令和元年度第1回母子保健推進会議について 2 妊娠支援部会について 3 新人保健師研修について	4人
第3回	12月20日	議題 1 医療的ケア児への支援について	6人
第4回	3月12日	議題 1 母子保健連絡会の目的について 2 母子保健体制整備事業・養育支援事業の取組・次年度計画（案）について 3 周産期部会における課題・対策について 4 令和2年度母子保健事業について 5 茅ヶ崎・寒川管内の母子保健事業の課題について～母子保健関連データから見える課題分析～ 6 市町母子保健連絡会の今後について 7 医療的ケア児への支援について	4人

【寒川町（子育て支援課）】

回	開催日	内容	出席者
第1回	4月22日	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 31年度市保健所地域保健課母子保健事業について 2 31年度寒川町子育て支援課母子保健事業について 3 31年度の市町母子保健連絡会について 	5人
第2回	8月22日	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和元年度第1回母子保健推進会議について 2 妊娠支援部会について 3 新人保健師研修について 	2人
第3回	3月11日	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 母子保健連絡会の目的について 2 母子保健体制整備事業・養育支援事業の取組・次年度計画(案)について 3 周産期部会における課題・対策について 4 令和2年度母子保健事業について 5 茅ヶ崎・寒川管内の母子保健事業の課題について～母子保健関連データから見える課題分析～ 6 市町母子保健連絡会の今後について 7 医療的ケア児への支援について 	3人

養育支援事業

ア 集団指導

医療ケアが必要な児や心疾患を持つ児とその保護者を対象に、交流会を実施しました。

(ア) 在宅人工呼吸器装着児と保護者の交流会

開催日	内容	講師	出席者	
			保護者	子(対象児)
8月1日	参加申込者が0人のため中止			
1月6日	茅ヶ崎・寒川の電気スポットについて話し合う	地域保健課 保健師	3人	2人

(イ) 医療的ケアが必要な児と保護者の交流会

開催日	内容	講師	出席者	
			保護者	子(対象児)
5月29日	タッチセラピーでリラックス	(財)国際リドルキッズ協会 セラピスト 川口 宏美 氏	3人	2人
12月11日	秋を楽しむ小さな飾りを作ろう	地域保健課 保健師	1人	1人

(ウ) キッズハート（心臓病の子どもを持つ親の交流会）

開催日	内容	出席者(延数)	
		保護者	子(対象児)
5月31日	情報交換（近況について）	8人	2人
8月2日	心臓についての勉強会（心臓のしくみ、病気や将来のこと）	4人	1人
10月4日	情報交換（近況について、今後について）	2人	0人
2月28日	新型コロナウイルス感染症の影響で中止		

イ 小児等在宅医療推進連絡会議

医療ケアを必要とする乳幼児が在宅で安心して生活し成長することができる支援体制づくりを目的として連絡会議を開催しました。

開催日	内容	出席者
11月12日	議題 1 茅ヶ崎・寒川地域に住む医療的ケアを必要とする児の目指すところと現状・課題・対応～保健師業務の取り組み～ 2 災害時における取り組み及び課題の共有 ①台風19号を経験して ②「災害時の人工呼吸器装着児・者のための手引き」について 3 全県的取り組み状況 4 ヒアリング結果	25人

ウ 従事者研修会

寒川町・茅ヶ崎市保健師等を対象に、医療的ケアを必要とする乳幼児が在宅で安心して生活し成長することができる支援体制づくりを目的とした標記研修会を実施しました。

開催日	内容	講師	出席者
7月4日	事例検討会 長期療養児への支援への支援を考える	元杏林大学保健学部 看護学科 保健師のための相談室（なごみ） 塚原 洋子氏	21人
3月4日	事例検討会 医療機器装着児への支援を考える		15人

1.5 保健指導・健康相談

(1) 健康教育・保健指導等の実施

ア 食物アレルギー研修

対象：小学校教職員

講師：医師、市保健所保健師

開催日	学校名	出席者
5月22日	茅ヶ崎小学校	34人
7月26日	緑が浜小学校	18人
8月28日	今宿小学校	25人
	松浪小学校	36人
8月29日	柳島小学校	25人
	西浜小学校	35人
8月30日	浜須賀小学校	30人
9月2日	円蔵小学校	25人

イ 命の学習・性について

対象：小学生（寒川町）、中学生、高校生、大学生、専修学校生

講師：市保健所保健師等

開催日	学校名	内容	対象	出席者
7月22日	茅ヶ崎高校（定時制）	命の学習	高校生	41人
10月23日	一之宮小学校	大人への体の変化	4年生	93人
11月1日	旭小学校			123人
1月10日	寒川小学校			105人
1月27日	小谷小学校			90人
2月26日	鶴が台中学校	命の学習	3年生	125人
3月2日	松浪中学校	新型コロナウイルス感染症の影響で中止		

ウ その他

開催日	内容	対象	出席者
7月23日	被災地派遣された職員の体験談	専門職ボランティアの登録者	27人
11月7日	クロスロードゲーム 熊本地震から見たこと	8020 運動推進員、専門職等	46人

(2) 訪問指導・電話相談・面談

カテゴリー	訪問指導		電話相談		面 接	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数
難病						
小児特定	8	14	6	6		
思春期			1	1		
障害児						
女性の健康相談			1	1		
感染症			1	1		
その他の疾患			1	1		
精神障害						
老人性認知症						
計	8	14	10	10	0	0

(3) 研修会

災害時に効果的に保健師活動を展開できるために、寒川町・茅ヶ崎市保健師等を対象に研修会を実施しました。

回	開催日	テーマ	講師	出席者
1回	5月20日	災害時の保健師活動に求められること	日本赤十字看護大学教授 石田 千絵氏	27人
2回	9月17日	保健師活動シュミレーション 災害時の茅ヶ崎市・寒川町保健師の体制 と避難所活動	市保健師等	39人
3回	12月9日	クロスロード（災害体験カードゲーム） を体験しよう（避難所における個別支援）	市保健師	38人

16 歯科保健

(1) 茅ヶ崎市歯科保健推進会議

茅ヶ崎市保健所管内における、地域歯科保健の課題や対策の方向性について検討を行い、地域歯科保健の充実や関係機関・団体との円滑な連携を図るとともに、茅ヶ崎市、寒川町の歯科保健に関する計画の推進を図るために開催しました。

ア 出席委員

所 属		職名（職種）	氏 名
茅ヶ崎歯科医師会		会長（歯科医師）	松井 久芳
茅ヶ崎寒川薬剤師会		副会長（薬剤師）	森川 厚子
茅ヶ崎・寒川地区歯科衛生士の会「ハッピーマウス」		会長（歯科衛生士）	嶋村真規子
8020 運動推進員、子育てアドバイザー			新家みどり
茅ヶ崎市	高齢福祉介護課	課長（事務職） 主事（保健師）	田渕 明子 小泉 竜太
	健康増進課	課長（保健師） 担当主査（保健師） 主任（保健師）	松尾 由香 須田 真純 農澤研一郎
寒川町	子育て支援課	課長（事務職） 副技幹（保健師）	宮崎 彰夫 野呂三佐子
	健康・スポーツ課	課長（事務職） 技幹（保健師）	亀井 正人 今澤みつ子

<助言者>

神奈川歯科大学大学院 歯学研究科災害医療・社会歯科学講座教授（歯科医師）山本 龍生 氏
部会出席者

茅ヶ崎・寒川地区歯科衛生士の会「ハッピーマウス」		会長 副会長	嶋村真規子 三橋 望未 三浦千賀子 青木真由美	
8020 運動 推進員	(元) 茅ヶ崎市民生委員・児童委員		佐藤 和美	
	茅ヶ崎市 高齢者支援リーダー		山田 文子	
	地域ボランティア（子育てアドバイザー）		新家みどり	
	寒川町 健康運動ボランティア		中西 文江 田辺 チョ	
茅ヶ崎市浜須賀地区地域包括支援センター「あさひ」主任介護支援専門員			光野 勝江	
茅ヶ崎市	高齢福祉介護課		課長補佐（保健師） 主事（保健師）	吉武 泉 安藤 美幸
	健康増進課	子ども健康・ 予防接種担当	担当主査（保健師） 主事（管理栄養士）	須田 真純 前田 宏香
		健康づくり担当	主任（保健師）	農澤研一郎
寒川町	子育て支援課		副技幹（保健師） 任期付き職員（管理栄養士）	野呂三佐子 岩橋 和代
	健康・スポーツ課		技術職員（保健師）	大西 真衣

イ 開催状況

区分	開催日	協議内容等	出席者
推進会議	1月30日 (木)	1 管内の歯科保健状況について 2 部会報告 3 歯科保健の推進について (1) 幼児の口腔機能の問題への対応について (2) オーラルフレイル対策の推進について 4 その他、情報提供等	14人

区分	開催日	協議内容等	出席者
部会	10月7日 (月)	1 重点推進項目の推進について (1) 「口から始める子育て“歯”援湘南 21 運動」の推進について (2) 家庭内フッ化物洗口の普及推進について (3) 歯間清掃用具の普及推進について (4) オーラルフレイル対策の推進について 2 情報交換、その他	18人

(2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町の乳幼児歯科保健事業と連携し、重度う蝕につながるリスク要因を有する児を対象に継続的な歯科検診、保健指導、フッ化物応用による予防処置、他専門職種と連携した食べ方支援を含む育児支援を行いました。

ア 歯科検診、予防処置等の実施状況

開設回数 (回)	受診者数 (人)			予防処置者数 (延人数) (人)		
	初診数	再診数	計	フッ化物	フッ化ジア ンミン銀	計
48	49	185	234	108	59	167

イ 初診者の把握経路

市町名	市 町 事 業 (人)				保健所事業 (人)	合計 (人)
	1.6 歳児	2 歳児	3 歳児	その他		
茅ヶ崎市	17	20	0	4	5	46
寒川町	1	2	0	0	0	3
計	18	22	0	4	5	49

ウ 初診者検診結果

区分	初診者 総数	受診者のう蝕状況 (人)			う蝕リスク要因 (複数計上) (件)				
		う蝕あり	う蝕注意病変あり	う蝕なし	離乳の遅れ	リスク食品の頻回摂取	リスク飲料の頻回摂取	口含み	その他
計	49	11	18	20	25	3	7	0	22

(3) 障害児者等歯科保健事業

障害児者や慢性疾患児を対象に継続的口腔診査、歯科保健指導、フッ化物応用による予防処置、摂食・嚥下指導を行いました。

ア 歯科検診、予防処置等の実施状況

開設回数 (回)	受診者数(人)		予防処置	摂食・嚥下指導
	初診数	再診数	延人数(人)	延人数(人)
45	19	99	76	43

イ 年齢別受診状況

年齢区分	6歳以下(人)	7～19歳(人)	20歳以上(人)	計(人)
初診	19	0	0	19
再診	86	13	0	99

(4) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

在宅で療養する障害児者を対象に、歯科疾患予防、摂食・嚥下機能訓練等のための訪問による口腔ケアを行いました。

ア 訪問状況

実人数 (人)	延人数(人)						従事回数(回)	
	総数 (人)	6歳以下	7歳～ 19歳	20歳～ 39歳	40歳～ 64歳	65歳 以上	歯科医師	歯科衛生士
26	27	4	0	6	14	3	7	5

イ 疾患別訪問状況

市町名	慢性疾患児	特定患者	認知症者	脳血管患者	その他	合計(人)
茅ヶ崎市	1	2	0	0	22	25
寒川町	0	0	0	0	1	1
計	2	2	0	0	22	26

(5) 歯周病予防対策事業

歯を失う最大の原因でありまた全身への影響の大きい歯周病の予防と進行防止のため、知識の普及とセルフケア技術の普及として歯間清掃用具の活用推進を図りました。

ア 歯ぐきの検診

実施回数(回)	検診者数(人)
2	22

イ 歯間清掃用具の活用推進

実施回数 (回)	保健福祉事務 所歯科保健事 業参加者	健康づくり団 体関係者	その他	計(人)
15	25	0	0	25

(6) 歯科健康教育

対象区分	母 子	児童・生徒	成 人	高齢者	その他	計
実施回数 (回)	2	1	1	1	1	6
受講者数 (人)	31	100	80	17	25	253

(7) 人材育成

研修・講習会名	受講者数 (人)	受講者内訳数								
		市町職員	歯科医師	歯科衛生士	保健師	栄養士	健康づくり団体	介護保険関係者	学校保健関係者	その他
茅ヶ崎市健康づくり講座	37	2					2			33
地域歯科衛生士連絡会	36	36								
新採用保健師歯科保健研修	10	10								
管内歯科衛生士活動支援研修会	20	19								1
計	103	67					2			34

(8) 8020 運動推進員育成事業

茅ヶ崎市保健所管内の8020運動推進員が、自主的な活動を円滑に実施できることを目的に育成研修を行いました。

日 時	内 容	講 師	参加者
11月7日 (木) 13:30~16:00	災害時における健口体操の役割 ・体験：クロスロードゲーム ・生命を救う口腔のケアとくち体操 ・活動のヒントなど！	白田千代子氏(歯科衛生士) 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 柴田元子(保健師) 地域保健課職員	46人
12月2日 (月) 13:30~16:00	忘れてはいけない！ 災害時のお口の健口対策を考える ・避難所はどんな状況か？ ・デンタルレスキュー1・2・3 ・推進員の役割とは！	北原 稔氏(歯科医師) 小田原保健福祉事務所足 柄上センター 益田貴正 防災対策課職員	47人
1月30日 (木) 9:00~10:00	ライフコースの視点から考える歯科保健 とボランティア活動	山本龍生氏(歯科医師) 神奈川歯科大学大学院歯 学研究科災害医療・社会 歯科学講座 教授	29人

(9) フッ化物洗口普及啓発事業

う蝕予防効果の高いフッ化物洗口を広く普及させるため、地域の関係機関と連携調整し、情報の周知を図るとともに、う蝕ハイリスク者等への応用を実施しました。

ア 連携調整会議（再掲）

開催日	令和元年1月30日（木）
委員構成 （職名、職種）	歯科医師会（会長・歯科医師）、薬剤師会（副会長・薬剤師）、地域歯科衛生士会（会長・歯科衛生士）、子育てアドバイザー兼8020運動推進員、寒川町（子育て支援課：課長（事務）・副技幹（保健師）、健康・スポーツ課：課長（事務）・技幹（保健師））、茅ヶ崎市（高齢福祉介護課：課長（事務）・主事（保健師）、健康増進課：課長（保健師）・担当主査（保健師）、主任（保健師）、助言者（神奈川歯科大学大学院歯学研究科災害医療・社会歯科学講座教授・歯科医師）
内容	家庭内フッ化物洗口の普及推進について

イ 情報の普及

	実施回数	人数（うちフッ化物洗口剤・処方箋の交付件数）
個別	58回	90人（40件）
集団	6回	41人

17 栄養・食生活対策

(1) 地域食生活対策推進協議会

管理栄養士・栄養士が配置されている病院や施設において「栄養サマリー」の活用をさらに推進することと併せて、在宅で療養する人にも切れ目のない継続的な栄養管理を推進するため、「栄養情報提供書」を活用した効果的な情報共有、伝達方法について検討し、病状に合った食事の提供を受けることができる体制づくりを進めることを目的に協議しました。

<委員名簿>

所 属	職名 (職種)	氏 名
一般社団法人茅ヶ崎医師会	理 事	鈴木美佐子
医療法人長谷川会 湘南ホスピタル	理 事	林 静子
一般社団法人茅ヶ崎介護サービス事業者 連絡協議会 介護支援専門部会	部 会 長	平本 哲也
一般社団法人茅ヶ崎介護サービス事業者 連絡協議会 介護支援専門部会	副 部 会 長	村松小百合
寒川町介護サービス事業所連絡会	会 長	木藤 剛
介護老人保健施設 茅ヶ崎浜之郷	管理栄養士	坂井るい子
社会福祉法人吉祥会 寒川ホーム	施 設 長	三澤京子
茅ヶ崎市立病院	管理栄養士	葦津幸子
茅ヶ崎市高齢福祉介護課	主 査	太田雅世

<部会委員名簿>

所 属	職名 (職種)	氏 名
茅ヶ崎市立病院	中央診療部栄養科	葦津幸子
茅ヶ崎新北陵病院	栄 養 科	川澄真里
湘南東部総合病院	栄 養 科	小島優里香
長岡病院	栄 養 課	高橋典子
けやきの森病院	栄 養 課	仲田里美
湘南さくら病院	栄 養 科	安藤久美子
茅ヶ崎中央病院	栄 養 科	渡邊祐子
寒川病院	栄 養 給 食 科	武田直子
茅ヶ崎徳洲会病院	栄 養 管 理 室	深谷朋子
介護老人保健施設 ふれあいの丘	栄 養 科	飯田由希子
介護老人保健施設 湘南の丘	栄 養 課	星野由紀
介護老人保健施設 茅ヶ崎浜之郷	栄 養 科	坂井るい子
介護老人保健施設 神恵苑	栄 養 給 食 課	石井麻由美
介護老人保健施設 ふれあいの渚	栄 養 科	都木かおり
介護老人保健施設 ケアパーク茅ヶ崎	栄 養 課	中野直子
介護老人保健施設 ふれあいの百合	栄 養 科	副島千聖

<開催状況>

区分	開催日	協 議 内 容	出席者
協議会	1月16日	1 栄養情報提供書の普及に係る取り組みについて 2 地域食生活対策推進協議会部会について 3 食生活支援担当者研修について 4 今後の在宅療養者への食生活支援について	8人
部会	10月2日	1 栄養情報提供書(栄養サマリー)を普及するための取り組みについて 2 介護支援専門員及び訪問介護員のアンケート結果について 3 各病院及び介護老人保健施設の栄養情報提供書使用状況等について	9人

(2) 専門的栄養指導・食生活支援事業

ア 個別栄養相談

疾病の重症化及び合併症の進行防止と生活の質の向上を図るため、疾病や病状、生活状況に応じた個別栄養相談を行いました。

<実施状況>

疾病別	糖尿病	脂質異常症 肥満合併症	心臓病	高血圧	腎臓病	難病	障害児 ・者	ハイリス スク児	低栄養	食事 診断	その 他	合計 (人)
指導 件数	3	2	0	0	1	3	0	0	1	6	7	23

イ 食生活支援担当者等研修会

地域や施設で食生活支援に関わる医療や福祉等の関係者に対して、研修を行いました。

<開催状況>

開催日	対象者	参加人数	主 な 内 容
10月8日	管内在宅担 当の介護支 援専門員、訪 問介護員、保 健師等	36人	・基調講演「高齢者にとっての食事の意義と栄養管理」 退所時の栄養情報提供について 講師 医療法人長谷川会 湘南ホスピタル 管理栄養士 林 静子 氏 ・事例発表「栄養ケア情報の活用」 講師 居宅介護支援センターふれあい北口ケアセンター 主任介護支援専門員 葛原 裕美 氏 他4名
10月31日	管内在宅担 当の介護支 援専門員、訪 問介護員、保 健師等	24人	・講演及び試食体験 「咀嚼・嚥下機能に応じた食品の形態について」 講師 医療法人長谷川会 湘南ホスピタル 管理栄養士 林 静子 氏

(3) 栄養表示等普及啓発事業

食品表示法、健康増進法に基づき、健康づくりを進める上での的確な食品選択ができるように食品製造・販売業者に対して適正な栄養成分表示を指導するとともに、その普及・啓発を行いました。

ア 普及啓発講習会

対 象	集 団 指 導		内 容
食生活改善推進団体	1 回	43 人	栄養成分表示の活用と栄養価計算
浜之郷小学校区青少年育成推進協議会	1 回	23 人	あなたがつくる元気とキレイ～貧血対策～
松林地区まちぢから協議会子ども部会	1 回	25 人	うちの子成長期！栄養足りてる？
計	3 回	91 人	

イ 事業者に対する表示適正化指導

内 容 区 分	食品表示法	健康増進法		計
		(特別用途食品)	(虚偽誇大表示)	
事前相談・指導 件数 (延回数)	25 件 (41 回)	0 件 (0 回)	0 件 (0 回)	25 件 (41 回)

ウ 消費者からの相談

食品表示法	健康増進法		計
	(特別用途食品)	(虚偽誇大表示)	
0 件	0 件	0 件	0 件

(4) 特定給食等指導事業

健康増進法及び市条例及び関係通知等に基づき、適正な給食の実施について指導・助言を行うとともに、給食施設における適切な栄養管理を確保するための講習会を実施しました。

ア 集団指導

<全体講習会開催状況>

種別区分	実数 (回)	開 催 日	参 加 施設数 (施設)	参 加 人員 (人)	内 容 ・ 講 師 等
全体講習会	3	5 月 23 日	77	82	・講演「食品衛生について」 講師 茅ヶ崎市保健所 食品衛生課 食品衛生監視員
		6 月 4 日	71	80	
		5 月 29 日	54	56	・講演「知る・役立つ 冷凍食品の特性」 講師 株式会社ニチレイフーズ 鈴木 清 氏
計	3		202	218	

<種別講習会開催状況>

種別区分	実数 (回)	開催日	参加 施設数 (施設)	参加 人員 (人)	内容・講師等
種別講習会	2	9月5日	5	4	対象施設：社会福祉施設 ・「関係機関との情報共有を通して、より良い給食管理を行う」 神奈川県立茅ヶ崎養護学校 栄養教諭 茅ヶ崎市教育委員会学務課 栄養士
		12月19日	19	28	対象施設：病院・介護老人保健施設・介護老人福祉施設・有料老人ホーム ・講演及び体験 「高齢者の口腔・嚥下機能の特徴と栄養管理」 講師 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 非常勤歯科衛生士 白田 千代子 氏
計	2		24	32	

イ 個別指導

<指導施設一覧>

栄養士配置区分 規模・施設種別区分		管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設		栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもいない施設		計	
		施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数
指定施設①	学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病院	1	1	1	1	0	0	0	0	2	2
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所	1	1	1	1	0	0	0	0	2	2
	寄宿舍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	2	2	2	0	0	0	0	4	4
1回300食以上又は1日750食以上 (指定施設①を除く)②	学校	17	17	0	0	8	8	1	1	26	26
	病院	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所	1	1	0	0	0	0	3	3	4	4
	寄宿舍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18	18	1	1	8	8	4	4	31	31	
1回100食以上又は1日250食以上 (①、②を除く)③	学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病院	0	0	4	4	0	0	0	0	4	4
	介護老人保健施設	1	1	6	6	0	0	0	0	7	7
	老人福祉施設	3	3	4	4	1	1	0	0	8	8
	児童福祉施設	3	3	1	1	16	16	10	10	30	30
	社会福祉施設	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
	事業所	0	0	0	0	0	0	8	8	8	8
	寄宿舍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
計	7	7	16	16	17	17	19	19	59	59	
その他の給食施設	学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病院	0	0	2	2	0	0	0	0	2	2
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	5	5	2	2	0	0	1	1	8	8
	児童福祉施設	4	4	0	0	10	10	6	6	20	20
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3
	事業所	1	1	0	0	1	1	12	12	14	14
	寄宿舍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	3	3	0	0	0	0	8	8	11	11
計	13	13	4	4	11	11	30	30	58	58	
合計		40	40	23	23	36	36	53	53	152	152

(1) 人材育成及び連絡調整会議

ア 在宅栄養士・栄養士会等

区 分	開催回数	参加延人員	備 考
管内在宅栄養士研修	2	6	「茅ヶ崎市・寒川町地域活動栄養士にんじんの会」

イ 食生活改善推進団体、地域リーダー等

区 分	指導回数	延人員
食生活改善推進員リーダーの育成	25	610

ウ 管理栄養士課程実習生指導

区 分	コース数	学生数	期 間
県立保健福祉大学	1	2	5月27日～5月31日
鎌倉女子大学	1	2	6月17日～6月21日
文教大学	2	5	9月2日～9月6日 9月17日～9月20日
相模女子大学	1	2	2月24日～2月28日

エ 栄養改善業務連絡調整会議

開 催 日	内 容
5月24日	・令和元年栄養・食生活対策事業について ・栄養業務連絡会議について（災害時の対応）
8月22日	・厚生労働省等の栄養施策の動向について ・神奈川県・保健所政令市栄養改善業務担当者会議報告 ・災害時の対応について（災害時専門職ボランティア、茅ヶ崎市地域防災計画） ・その他
11月26日	・災害時の対応について（茅ヶ崎市地域防災計画） ・その他
1月9日	・災害時の対応について（災害時の食物アレルギー者対応マニュアルの検討、防災対策課への提案内容の確認）
2月12日	・災害時の対応について（防災対策課との情報交換） ・その他

(2) 国民健康・栄養調査

（厚生労働省の委託事務）

厚生労働省が決定した調査地域に茅ヶ崎市保健所管内が該当しなかったため、実施なし。

1 8 特定不妊治療費助成事業及び不育症治療費助成事業

(1) 茅ヶ崎市特定不妊治療費助成事業

神奈川県助成決定を受けた方を対象として、治療総額から県の助成を差し引いた額のうち10万円を上限に、1年度あたり1回限り、通算2年度まで申請を受け付け、助成しました。

ア 治療開始時年代別

	～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳以上	計
男性	0	0	4	33	52	50	11	1	0	151
女性	0	0	4	35	78	34	※	※	※	151

※ 助成対象外（治療開始時点の妻の年齢が43歳以上の場合は助成対象外）

イ 助成金額

金額	給付件数(件)	給付金額(円)
満額 (10万円)	124	12,400,000
その他(10万円未満)	27	1,668,577
合計	151	14,068,577

(2) 茅ヶ崎市不育症治療費助成事業

不育症（妊娠はするものの流産又は早産を繰り返す症状）を治療して子を持つとする方の経済的負担を軽減するために、指定した医療機関において不育症と診断された後の医療保険の対象とならない検査費用及び治療費について費用の一部を助成しました。

金額	申請受付件数(件)	給付金額(円)
満額 (15万円)	0	0
その他(15万円未満)	2	164,760
合計	2	164,760

1 9 神奈川県經由事務

(1) 小児医療援護

ア 小児慢性特定疾病医療費支給申請受付（単位：件）

小児慢性特定疾病医療費支給申請の書類を受理し、内容を確認のうえ、平塚保健福祉事務所保健福祉課あてに送付しました。

市町名	受付件数
茅ヶ崎市	300
寒川町	34
合計	334

受付区分	受付件数
更新	154
新規	62
不足書類提出	65
変更	38
その他	15
合計	334

イ 療育医療給付申請受付

市町名	給付件数
茅ヶ崎市	0
寒川町	0
合計	0

(2) 神奈川県不妊に悩む方への特定治療支援事業

知事が指定した医療機関において特定不妊治療（体外受精または顕微受精による治療）を受けた夫婦から助成金の申請書類を受理し、内容を確認のうえ、県健康増進課あてに送付しました。

市町名	申請受付件数
茅ヶ崎市	298
寒川町	40
合計	338

(3) 母体保護法第25条に基づく統計の報告（衛生行政報告例）

母体保護法第25条に基づく届出による情報に基づき、管内医療機関における不妊手術及び人工妊娠中絶の件数等の情報を集計し、県健康増進課あてに報告しました。

ア 不妊手術実施件数

区分	総数	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	不詳
総数	9	0	0	1	2	4	2	0
茅ヶ崎市	4	0	0	0	0	3	1	0
寒川町	4	0	0	1	1	1	1	0
管外	1	0	0	0	1	0	0	0

イ 人工妊娠中絶実施件数

区分	総数	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	不詳
総数	384	30	83	70	73	83	45	0
茅ヶ崎市	167	17	36	24	36	31	23	0
寒川町	35	1	5	11	7	9	2	0
管外	182	12	42	35	30	43	20	0